

繊維の種類と特徴

布を構成している糸をさらにほぐすと、細かいわた状の()が得られる。
 繊維の形や分子が天然に得られるか、または人工的に作られるかによって次のように分類される。

1				2		
3		4		5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
(15) がよい	(16) がある	(21) が大きい	しなやかで(22) がある	吸水性が大きい	熱で変形を固定することができる	ひっぱりや摩擦に(26) しわに(27)
(17) が大きい ぬれても弱くならず(18) に耐える		(23) が大きい		ぬれると弱くなる しわになりやすい		熱に(28) 吸湿性が小さく静電気をおびやすい
熱に(19) しわに(20)		紫外線で(24) する (25) を受けやすい				
29 タオル	30	31 毛布・カーペット	32 ネクタイ・スカーフ	婦人服・裏地	裏地	ナイロン ポリエステル アクリル ポリウレタン

Q1 次に示す繊維を吸湿性が大きい順に並びかえなさい。 綿・毛・絹・ポリエステル
 (1 2 3 4)

Q2 次に示す繊維をひっぱり強い順に並びかえなさい。 綿・麻・毛・ナイロン
 (1 2 3 4)

年 組 番 氏名

繊維の種類と特徴

布を構成している糸をさらにほぐすと、細かいわた状の(繊維)が得られる。

繊維の形や分子が天然に得られるか、または人工的に作られるかによって次のように分類される。

1 天然繊維				2 化学繊維		
3 植物繊維		4 動物繊維		5 再生繊維	6 半合成繊維	7 合成繊維
8 綿	9 毛	10 毛	11 絹	12 レーヨン	13 アセテート	14 ナイロン ポリエステル アクリル ポリウレタン
(15 肌ざわり) がよい	(16 冷感) がある	(21 保温性) が大きい	しなやかで(22 光沢)がある	吸水性が大きい ぬれると弱くなる しわになりやすい	熱で変形を固定する ことができる	ひっぱりや摩擦に(26 強い) しわに(27 なりにくい)
(17 吸水性)が大きい ぬれても弱くならず(18 洗濯)に 耐える 熱に(19 強い) しわに(20 なりやすい)		(23 吸水性)が大きい 紫外線で(24 黄変)する (25 虫害)を受けやすい				熱に(28 弱い) 吸湿性が小さく静電気をおびやすい
29 肌着 タオル	30 夏用衣服	31 セーター 毛布・カーペット	32 和服 ネクタイ・スカーフ	婦人服・裏地	裏地	ナイロン ストッキング アクリル セーター ポリエステル 衣服 ポリウレタン 水着

Q1 次に示す繊維を吸湿性が大きい順に並びかえなさい。 綿・毛・絹・ポリエステル
(1 毛 2 絹 3 綿 4 ポリエステル)

Q2 次に示す繊維をひっぱり強い順に並べかえなさい。 綿・麻・毛・ナイロン
(1 麻 2 ナイロン 3 綿 4 毛)